



令和8年度沖縄県警察官A・B(武道指導区分) 採用選考試験案内

令和8年7月24日
沖縄県警察本部

○受付期間 令和8年7月24日(金)～8月24日(月)

※ 郵送の場合は、8月24日(月)までに必着

○第一次試験日 令和8年9月27日(日): 教養試験

○第二次試験日 令和8年11月中: 体力検査・身体測定・身体検査・武道検査
同年11月中: 適性検査・論(作)文試験・口述試験

○採用予定日 令和9年4月1日(木)

【問合せ先・受験申込先】 沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係
〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2
代表電話 (098) 862-0110 (内線) 2664～2665

1 試験区分、採用予定数及び職務内容

試験区分	採用予定数	職務内容
沖縄県警察官A (武道指導区分) 及び 沖縄県警察官B (武道指導区分)	若干名	警察官として個人の生命、身体及び財産の保護、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締り、その他公共の安全と秩序維持の任務に従事するとともに、沖縄県警察における武道指導員に関する業務に従事します。

2 受験資格

(1) 学歴

ア 警察官A(大卒)

(ア) 大学を卒業した者又は令和9年3月までに大学を卒業する見込みの者

(イ) 沖縄県人事委員会がア(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者

イ 警察官B(高卒程度)

次のいずれにも該当しないもの

(ア) 大学を卒業した者又は令和9年3月までに大学を卒業する見込みの者

(イ) 沖縄県人事委員会がイ(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者

(2) 年齢

警察官A(大卒)・警察官B(高卒程度)

平成9年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた者

(3) 資格

ア 申込日現在において、警察官A(大卒)は柔道又は剣道の段位が3段以上の者若しくは令和9年3月までに3段を取得見込みの者、警察官B(高卒程度)は柔道又は剣道の段位が2段以上の者若しくは令和9年3月までに2段を取得見込みの者

イ 全日本柔道連盟、全日本剣道連盟若しくはこれに加入する団体が主催して行う競技会又はそれに相当すると認められる競技会において優秀な成績をあげた者

(4) 次のいずれかに該当する者は受験できません。

ア 日本の国籍を有しない者

イ 地方公務員法第16条に規定する次の事項に該当する者

- (ア) 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (イ) 沖縄県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の日時及び場所

	試験種目	日時	場所
第1次試験	教養試験	9月27日（日）	沖縄県警察本部
第2次試験	体力検査・身体測定・身体検査・武道検査	11月中	沖縄県警察本部
	適性検査・論(作)文試験・口述試験	11月中	

4 試験の種目及び方法・内容

- (1) 試験は、第1次試験、第2次試験及び資格調査とし、第2次試験は第1次試験合格者について行います。

試験の種目		方法・内容
第1次試験	教養試験	警察官として必要な一般的な知能（社会・人文・自然・文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈）についての択一式（40問）による 大学卒業程度（警察官A）又は高校卒業程度（警察官B）の筆記試験 を行います。（2時間）
第2次試験	体力検査	職務遂行に必要な筋力及び俊敏性についての検査（腕立て伏せ・反復横跳び・上体起こし）を行います。
	身体測定	職務執行上、必要な身体的条件を有しているか測定します。
	身体検査	既往歴、伝染性疾患、聴力、視力、色覚等について、医療機関において検査した身体検査書の提出を求め、これにより判定します。
	武道検査	柔道又は剣道の実技試験を実施します。
	論文試験 （警察官Aのみ）	思考力、総合的判断力、文章構成力及び表現力についての筆記試験（1,000字以内）を行います。（2時間）
	作文試験 （警察官Bのみ）	思考力、構成力及び表現力についての筆記試験（600字以内）を行います。（1時間）
	口述試験	主として人物について個別面接による試験を行います。なお、論（作）文試験の前に適性検査を実施し、その結果については、個別面接の参考とします。
資格調査		受験資格の有無、受験申込書記載事項の真否等について調査します。

(2) 体力検査、測定及び検査の基準

試験種目	検査種目 (検査項目)	合 否 基 準	
		男性	女性
体力検査	腕立て伏せ	30回(2秒に1回)	10回(2秒に1回)
	反復横跳び	20秒間で50回以上	20秒間で40回以上
	上体起こし	30秒間で25回以上	30秒間で15回以上
身体測定	そ の 他	身体の諸機能が健全であること。	
身体検査	聴 力	正常であること。	
	視 力	両眼とも裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上であること。	
	色 覚	職務に支障がないこと。	

5 受験手続

(1) 受験申込書の入手方法

ダウンロードで入手する方法	沖縄県警察ホームページ (http://www.police.pref.okinawa.jp/) から受験申込書の様式をダウンロードすることができます。 なお、ダウンロード(印刷)がうまくできない場合は、直接受け取る方法により受験申込書を入手してください。
直接受け取る方法	沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係 において、受験申込書を配布しています。

(2) 申込先、申込手続及び受付期間

申 込 先	沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係〔〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2〕
申込手続	受験申込書(必要事項記入、申込前3か月以内に撮影した写真貼付)に ・ 最終学歴の卒業証書の写し又は卒業証明書(卒業見込みの者は卒業見込証明書) ・ 3段以上(警察官A)又は2段以上(警察官B)を証するものの写し ・ 競技会において優秀な成績をあげたことを証する賞状等の写し を添付して提出してください。 郵便で申し込む場合は、封筒の表に「 沖縄県警察官A(武道指導区分)選考採用試験受験 」または「 沖縄県警察官B(武道指導区分)選考採用試験受験 」と 朱書き し、必ず簡易書留郵便で送って下さい。
受付期間	令和8年7月24日(金)から8月24日(月)まで 午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) 郵送の場合は、8月24日(月)までに必着

※ 沖縄県人事委員会が実施する警察官採用試験との併願も可能です。

6 合格発表

	期 日	方 法
第一次試験合格発表	令和8年10月中旬頃	沖縄県警察ホームページに掲載するほか、合格者に対して直接書面で通知します。
最終合格発表	令和8年12月中	

7 合格から採用まで

- (1) 最終合格者は、警察官採用候補者名簿に成績順に登載され、その中から沖縄県警察本部長が採用を決定します。
- (2) 最終合格者の数は、採用を辞退する者等の数を考慮して決定しますので、合格しても採用されないこともあります。
- (3) 採用候補者名簿の有効期間は、名簿確定の日から原則1年です。

8 採用予定日

令和9年4月1日(木)

9 勤務条件等

- (1) 初任給は、令和8年4月現在警察官A(大卒)265,600円・警察官B(高卒程度)230,400円で、経歴その他に応じてこの額以上になります。
ほかに扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給条件に応じて支給されます。
- (2) 昇給は、原則として毎年1回行われます。また、研修成績が優秀等の場合の特別昇給制度があります。

10 選考試験に関する注意事項

- (1) 試験の詳細な日程は、受付期間終了後、受験者へ通知します。
- (2) 警察本部の駐車場は利用できませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

試験会場案内図

(注) 試験会場内への自家用車での乗り入れはご遠慮ください。



受験申込書の記入要領

- 氏名・生年月日・現住所・連絡先欄
わかりやすく、丁寧に記入してください。
住所欄は、現在居住しているところを記入してください。寮、アパート、下宿、間借り等の場合は、建物の名称、同居先を明確に記入してください。
試験の実施通知及び合格通知は、全て連絡先に行いますので、連絡先は最も確実なところを記入してください。（住所と同一の場合は、「同上」と記入する。）
- 学歴欄
最終学歴から順番に記載し、高校又は中学までの学歴を記入してください。
専修学校は記入しないでください。
- 職歴欄
今までの勤務上の経験（自営業を含む。）を新しいものから順番に記入してください。
現在勤務中の場合は、退職理由欄に斜線を引いてください。
- 日付
記入日の日付を記入してください。
- 署名欄
必ず申込者本人が自署してください。